



慶應義塾大学 外国語教育研究センター主催

2008 年度 海外研修 募集要項

ニュージーランド オークランド大学
University of Auckland

オーストラリア ニュー・サウス・ウェールズ大学
University of New South Wales

オーストラリア シドニー大学
University of Sydney

趣旨

塾生が、本学の交流協定校に設置されている優れた語学研修プログラムに参加することで、語学力向上を図ると同時に、異文化体験を通して豊かな国際性を養うための第一歩とすることを目指す短期研修プログラムです。将来的な長期留学への不安を解消することも目的としています。

プログラム概要

派遣先大学	オークランド大学(UA)	ニュー・サウス・ウェールズ大学(UNSW)	シドニー大学(US)
所在地	ニュージーランド オークランド	オーストラリア ニュー・サウス・ウェールズ州 シドニー	
研修期間	4週間	5週間	5週間
現地研修日程	2009年2月21日(土) ~3月21日(土)	2009年2月7日(土) ~3月14日(土)	2009年2月14日(土) ~3月21日(土)
募集人数	15名	20名	10名
最少催行人数	5名	5名	10名
応募資格	慶應義塾大学に在籍する学部生・大学院生		
渡航形態	大学手配の航空便による往復団体旅行		
宿泊先	ホームステイ		
単位数(予定)	2単位(2009年度春学期の外国語教育研究センター特設科目より認定)		
参加費用 (海外旅行保険料を除く)	約60万円(予定)	約60万円(予定)	約63万円(予定)

詳しくは本募集要項 および を参照してください。

単位の取り扱いについては所属学部により異なります。単位認定を希望する場合は、必ず申込み前に所属学部の学事担当者にお問い合わせください。

全プログラム共通要項

1. 全体の流れ

(1) 募集説明会	2008年11月11日(三田)・12日(日吉)
(2) オンライン登録受付期間	2008年11月12日～18日
三田祭期間中(19日～25日)の受付はいたしません。	
(3) 応募申込受付期間	2008年11月26日～28日
(4) 参加許可者発表	2008年12月2日
(5) 参加費納入期限	2008年12月中旬～2009年1月上旬(予定)
(6) 渡航前オリエンテーション (並びにケーススタディ・トレーニング)	2009年1月17日(13:00～・予定) (全プログラム対象)
(7) 現地研修	2009年2月～3月
(8) レポートおよびアンケート提出期限	2009年4月中旬(履修申告前)
(9) 履修申告(単位取得希望者)	2009年4月中旬(web登録)

2. 参加申し込み手順

(1) オンライン登録 (2008年11月12日(水)10:00～11月18日(火)16:30)

外国語教育研究センターweb サイト<<http://www.flang.keio.ac.jp/>>トップページよりオンライン登録用の画面で、必要データを登録してください。登録する内容は、本募集要項巻末の申込書の記入項目のうち、主に個人情報部分と英語の語学能力試験に関わるものとなります。受験した語学能力試験のスコア等を手元に用意しておくとい良いでしょう。

登録するデータ内容は、申込書に記入する内容と同一にしてください。

ローマ字氏名欄に登録するアルファベット表記は、パスポートと同一で申請してください。

所定の時刻を過ぎると、システム上データの登録はできなくなります。早めに作業を終えるようにしてください。

申込みは「データ登録」と「申込書類の提出」双方によって初めて完了します。データ登録が完了していても、申込書一式を期限までに提出しなければ、申込みとはみなされませんので、十分に注意してください。

万が一内容を誤って登録してしまった場合は、登録時に送信される確認メールをプリントアウトしたものに赤字で訂正を入れ、書類提出時に窓口で申し出てください。

(2) 申込書提出 (2008年11月26日(水)～11月28日(金))

キャンパスにより受付時間が異なりますので、注意してください。

「海外研修 共通参加申込書」と「共通参加申込書(エッセイ)」の両方を提出してください。

web上からMS-Word ファイルをダウンロードして記入・印刷、事務室配布の募集要項巻末の所定用紙に記入、どちらの方法でも構いません。書類が完成しましたら、すべてのページにつきコピーを1部取り、オリジナルに添えて、計2部を下記の指定の場所へ期限内に提出してください。なお、書類提出の際には上記(1)のオンライン登録(締切日が異なります)を完了していることが必要になります。オンラインでの登録が完了していないと窓口での申込受付は行えませんので、注意してください。

・ 日吉・三田キャンパス

期間 2008年11月26日(水)～11月28日(金) 09:00～16:30(日吉)
10:30～16:30(三田)

場所 外国語教育研究センター 事務室

・ 湘南藤沢キャンパス

期間 2008年11月26日(水)～11月28日(金) 09:15～16:50

場所 SFC 事務室 学事担当(総合政策学部、環境情報学部、政策・メディア研究科)

SFC 看護医療学部事務室(看護医療学部・健康マネジメント研究科)

併願

希望者は、第1希望の研修校のみにチェックを入れてください。複数の研修校を希望する併願申込みはできません。

保証人の承諾

海外研修参加に際しては、保証人の承諾が必要になります。「オンライン登録・申込書提出」をする前に、必ず保証人の承諾を得るようにしてください。派遣が許可された場合には、保証人の承諾書(署名捺印入りの書類)の提出が必要になります。保証人の承諾が得られないことを理由に参加辞退の申し出をされても、受け付けられませんので、十分に注意してください。

3. 応募資格

慶應義塾大学学部生・大学院生

4. 選考方法

応募者が募集人数を超えた場合は、コンピュータによる抽選を行いません。

5. 参加許可者の発表 2008年12月2日(火) 10:00

日吉・三田キャンパス: 外国語教育研究センター掲示板

湘南藤沢キャンパス: 事務室掲示板

6. 渡航前オリエンテーション

2009年1月17日(土) 13:00～(予定) 於: 日吉キャンパス

詳細については、結果発表時に対象者に通知します。欠席は認められません。

7. ケーススタディ・トレーニング

研修期間中に起こり得る課題、問題について考え、研修に備えるトレーニングです。参加する皆さんのレベルに合わせ、テーマを絞り問題解決に共に悩んで取り組めるような状況を設定して行います。実際にそのような場面に遭遇した時にホストファミリーなどと英語で会話し、英語で問題解決が出来るようなところまで練習していく約1時間のセッションです。参加者同士が事前に知り合う良い機会にもなります。

8. 滞在施設

滞在中の宿泊は、3プログラム全てホームステイとなります。

・ホームステイについて

ホームステイでは、研修校近隣に住んでいる家族と共に暮らすことで、英語や同国のライフスタイル、文化といったものを身近に体験できます。研修先の国々によって家族形態や人種・宗教はさまざまです。ステイ先の家庭も親一人子一人の家庭、カップルだけの家庭、子どもが複数いる家庭、独身者の世帯、また、他の留学生が同居している場合もあります。

ステイ先では原則、一人に一室が与えられ、部屋には必要最低限の家具がついています。滞在中は、最低限の身の回りのこと(ベッドメイキングや部屋の掃除、自分の衣類の洗濯)は各自で行いましょう。ステイ先の設備は丁寧に扱うように注意してください。

ステイ先によって、それぞれの家のルールがあるので、ステイ初日にホストファミリーとルールの確認を行いましょう。また、帰宅後や週末などではできる限りホストファミリーとの時間を有意義に過ごして、積極的にコミュニケーションを図り、日常の英会話能力向上に努めてください。

9. 帰国後の提出物

- ・ 単位認定を希望する学部生のみ、本プログラムの事後研修として、レポート課題を配布します。単位認定を希望する学部生は、「課題レポート」(A4用紙3枚程度)を期限までに提出してください。
- ・ 本プログラムに参加した学生には、研修終了後に外国語教育研究センターに報告書を提出していただきます。(必須)

10. 単位の取り扱い

本プログラムにより派遣生のうち、単位認定を希望する学部生には、派遣先大学からの成績証明と帰国後に提出する課題レポートによって、外国語教育研究センター担当教員の成績評価がなされ、2009年度春学期に単位が認定される場合があります。

(ただし、派遣時4年次在籍者は対象外とします。)

単位認定を希望する学部生は、上記9.に記載されている「課題レポート」を提出し、2009年4月のweb履修申告期間中に登録することになります。ただし、単位の取り扱い等は学部により異なり、また、必ずしも単位の認定がなされるとは限りませんので、注意してください。また認定された単位が卒業単位として扱われるとは限りません。詳細は派遣者決定後の渡航前オリエンテーションで説明をします。

11. 参加を辞退する場合

やむを得ず参加を辞退する場合は、ただちに外国語教育研究センターに申し出てください。申し出が遅れた場合、補欠者への連絡が遅れる等、研修の進行に多大な迷惑がかかります。また、参加費用納入後に辞退する場合は、全プログラムにおいて、規定に従ってキャンセル料金が発生しますので、注意してください。キャンセルの詳細については、後日、派遣許可者に配布される資料を参照してください。

「各研修の運営委託業者配布資料」は11月11日(三田)・12日(日吉)の募集説明会にて配布するほか、13日以降、外国語教育研究センター事務室、SFC事務室、および看護医療学部事務室の各窓口で配布します。

12. その他の注意事項

- (1) 連絡先等の変更があった場合は、参加許可者の発表前であっても、当センターにその都度連絡してください。
- (2) 申込時に旅券(パスポート)を保有していない派遣希望の塾生は、早急に申請を完了しておいてください。パスポートの取得には時間がかかる場合があります。申請・取得が遅くなると、プログラムに参加できない場合もありますので、十分に注意してください。
- (3) オリエンテーション等、日程が定められた事前の行事への欠席は、原則として認められません。あらかじめスケジュールを空けておくようにしてください。
- (4) 研修中の事故及び疾病等は、派遣学生の責任とし、そのための経費は自己負担とします。
- (5) このプログラムは、自然災害、戦争・テロ災害、航空機等交通機関に関わる事故ならびに前記以外の人為的、不慮不可抗力による事故等のために中止する場合があります。あらかじめご了承ください。

13. 問合せ先

慶應義塾大学 外国語教育研究センター 事務室

日吉キャンパス第三校舎2F 三田キャンパス南校舎1F

URL:<http://www.flang.keio.ac.jp/> E-mail: fcenter-sa@adst.keio.ac.jp

海外研修に関する問合せ窓口受付時間(月～金): 10:30～16:30

三田事務室 電話:03-5427-1601

日吉事務室 電話:045-566-1031

プログラム別要項

1. オークランド大学

研修校: The University of Auckland, English Language Academy
 キャンパス: City Campus
 URL: <http://www.ela.auckland.ac.nz/>
 研修期間: 4週間 2009年2月21日(土)～3月21日(土)
 出発日: 2009年2月21日(土)成田発、2月22日(日)オークランド着予定
 帰国日: 2009年3月21日(土)オークランド発、3月21日(土)成田着予定
 予定日程:

日 程	行 程	時 間	交通機関	摘 要
1 2月21日(土)	成田空港集合 東京(成田)発	18:30	NZ090 (予定)	NZ 航空にてご出発 (クライストチャーチ経由) オークランド空港へ 機中泊
2 2月22日(日)	オークランド着	12:35		着後、ホストファミリーと対面後 各滞在先へ ホームステイ泊
3 2月23日(月)	オークランド			オークランド大学英語研修 ホームステイ泊
28 3月20日(金)				ホームステイ泊
29 3月21日(土)	オークランド発 東京(成田着)	09:15 16:25	NZ099 (予定)	オークランド空港より NZ 航空にてご出発 日本へ 着後、解散

NZ: ニュージーランド航空 *発着時間、便名、航空会社、交通機関等は予定ですので変更になる場合があります

1.1. 大学概要

オークランド大学は1883年に設立されて以来、学術と勉学に秀でたニュージーランド最大の大学として、教育研究分野を常に先導しています。大学は国際都市オークランドの中心に位置しており、34,000名の学生に刺激に満ちた環境を提供しています。同大学が提供する広範囲にわたる世界レベルの研究主導型カリキュラムは国際的に認知されており、世界中の100以上の国々から約4,700名の留学生が大学での勉学を選択しています。各学生の持つ異なる視点や文化が、大学のコミュニティを豊かなものにしていきます。

1.2. 研修校概要

同大学のEnglish Language Academy (ELA)は、高水準の英語教育やIELTSトレーニングを、様々な国籍の学生に提供しています。ELAには、学部生や学部の卒業生程度対象の英語プログラムや専門英語、教員養成コースといった全ての学生の関心に沿ったコースがあります。前述の通り、オークランド大学のキャンパスはオークランドの中心に位置しており、ELAは、そこで学ぶ学生のために近代的で広大な環境を提供しています。全ての教員は専門の資格を持ち、第二外国語としての英語を教える幅広い経験をもっています。ELAのスタッフはオークランド大学のスタッフとも連携しています。

- 1.3. 募集人数 15名
- 1.4. 最少催行人数 5名
- 1.5. 渡航の形態 大学手配の航空便による往復団体旅行。
- 1.6. 参加費用 約 600,000 円(予定。海外旅行保険料を除く)
【内訳】

研修費用(予定)	約 390,000 円	登録・授業料、滞在中の宿泊費、食費(平日の昼食を除く)、現地空港から大学までの往復送迎費、現地での 24 時間日本語緊急電話対応、その他研修の運営および手続きに関わる費用
旅行代金(予定)	約 210,000 円 参加人数により 10,000～30,000 円変動する 可能性があります	往復航空運賃、成田空港施設使用料、2008年9月現在の燃油特別付加運賃(JPY53,840...変動します)、成田空港での最終オリエンテーションおよびチェックインサポート、現地でのヘルプデスク(電話)
海外旅行保険料 (参考金額)	12,720 円	AIU 保険会社 31 日 901 タイプの場合。保険料の異なる 3 プランのうちから希望のものを選択可能

(注) 上記研修費用は、2008年9月を基準に算出されています。確定金額は株式会社京王観光から請求書発送時にその月の株式会社京王観光規定為替レートが摘要されるため、上記金額と同一とは限りません。

上記研修費用・旅行代金は、今後の為替変動や航空運賃の変更等により変更になる場合があります。また10名の参加申込みがあった場合の適用であるため、10名未満の場合は料金が変わるとなります。また、日本国籍以外の学生でビザの取得が必要になった際には別途実費が必要となります。

上記参加費用に含まれないもの

1. 成田空港までの往復交通費など日本国内の移動交通費。
2. 旅券取得に関わる印紙代金等一切の費用。
3. 研修中の通学費用。
4. 研修期間中の平日の昼食代。
5. 教材費。
6. 小遣い、自由行動中に発生する費用、電話代等、個人的費用。

1.7. 研修内容 一般英語(General English)コース

一般英語コースは指定テキストや様々な補助教材を使用して行なわれます。このコースは日常会話能力の向上を図るためにつくられたものですが、正規大学留学を検討している人にも適しています。午前のクラスでは文法、リスニング、リーディング、スピーキング、ボキャブラリー、正確なライティングを学びます。

レベルは Elementary、Pre-Intermediate、Intermediate、Upper-Intermediate、Advanced の 5 段階があります。学生は全員、初日にプレースメントテストを受け、各人の能力にあったクラスに割り振られます。毎週月曜日に入學できるシステムをとっているため、週が変わりでクラス編成が変わるので、新鮮さを味わえます。

基礎コースと中級コースでは、午前を受講しているクラスの授業を午後の授業でさらに補強します。さらに上のコースでは、Business English、IELTS、TOEFL、English for Management などの中から選択して履修します。

時間割(例)

Time	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
9.00-10.30	Classes	Classes	Classes	Classes	Classes
10.45-12.15	Classes	Classes	Classes	Classes	Classes
Break					
1.15-2.15	Classes	Classes	Classes	Classes	Optional Activities
Break					
2.30-3.30	Classes	Classes	Classes	Classes	Optional Activities

休憩と昼食時間は、クラスによって変更になる可能性があります。

2. ニュー・サウス・ウェールズ大学

- 研修校: University of New South Wales, Institute of Languages
 キャンパス: Randwick Campus あるいは Kensington Campus
 URL: <http://www.lang.unsw.edu.au/elicos/>
 研修期間: 5 週間 2009 年 2 月 7 日(土) ~ 3 月 14 日(土)
 出発日: 2009 年 2 月 7 日(土)成田発、2 月 8 日(日)シドニー着予定
 帰国日: 2009 年 3 月 14 日(土)シドニー発、同日成田着予定
 予定日程:

日 程		予 定	滞在方法
1	2/7(土)	成田空港集合後、出発前オリエンテーション 成田空港よりシドニー空港へ向けて出発	機中泊
2	2/8(日)	シドニー空港到着後、研修校スタッフによる出迎え 研修校に移動後 ホストファミリー宅へ	ホームステイ
3	2/9(月)	プレイスメントテスト	
35	3/13(金)	研修コース 研修コース最終日: 修了証書授与	
36	3/14(土)	シドニー空港へ移動 シドニー空港より成田空港へ向けて出発 成田空港到着後、解散	

2.1. 大学概要

ニュー・サウス・ウェールズ大学(University of New South Wales)は 1949 年の創立以来、州内で最大規模を誇り、かつ最も高い評価を集める大学のひとつとしてその地位を確立しています。約 4 万人の学生に 6,500 人を超える教職員を抱える、オーストラリア最大級の教育機関です。過去 50 年間、国際的教育事業に大きく貢献してきた同大学では、在籍者の 2 割以上を留学生が占めており、海外からの留学生や研究者の受入実績には目を見張るものがあります。また、その教育内容は非常に高い評価を受けており、多くの卒業生が、国内外の政治、ビジネス、学問等の世界で活躍しています。

同大学と慶應義塾大学との関係は、長年、研究者交流が主流でしたが、2004 年に同大インスティテュート・オブ・ランゲージ(Institute of Languages)と本学外国語教育研究センターが協定を交わし、先方のすぐれた語学プログラムに塾生を短期間派遣することになりました。

2.2. 研修校概要

1966年に創設された同大学のインスティテュート・オブ・ランゲージ(UNSWIL)は海外からの留学生向けの語学教育に豊富な経験を持ち、オーストラリア国内で最も豊かな歴史と伝統を持つ語学研修センターとして知られています。オーストラリアでは、留学生などに英語を教える学校やコースを ELICOS(English Language Intensive Course for Overseas Students)と呼んでいます。設備、教員のレベル、授業内容、1クラスあたりの学生数などが基準以上である学校のみが ELICOS 校として政府に登録・認定されますが、UNSWIL も、この ELICOS 認定校です。

2.3. 募集人数 20 名

2.4. 最少催行人数 5 名

2.5. 渡航の形態 大学手配の航空便による往復団体旅行

2.6. 参加費用 約 600,000 円(予定。海外旅行保険料を除く)

[内訳]

研修費用(予定)	379,840 円	登録・授業料、滞在中の宿泊費、食費(平日の昼食を除く)、現地空港から大学までの往復送迎費、日本語緊急電話対応、その他研修の運営および手続きに関わる費用
旅行代金(予定)	215,850 円	往復航空運賃、成田空港施設使用料、オーストラリア空港税、2008年10月現在の燃油特別付加運賃、ETAS(オーストラリア電子ビザ)発行代、成田空港での最終オリエンテーションおよびチェックインサポート、シドニー空港での日本語チェックインアシスタント料
海外旅行保険料(参考金額)	15,280 円	三井住友海上保険株式会社 S2 タイプ(39日間まで)の場合

上記研修費用は、2008年9月を基準に算出されています。確定金額は CIEE から請求書発送時にその月の CIEE 規定為替レートが摘要されるため、上記金額と同一とは限りません。上記研修費用・旅行代金は、今後の為替、航空運賃、燃油特別付加運賃の変動等により変更になる場合があります。また 10 名以上の参加申込みがあった場合の適用であるため、10 名未満の場合は料金が変更となります。

また、日本国籍以外の学生でビザの取得が必要になった際には別途実費が必要となります。

上記参加費用に含まれないもの

1. 成田空港までの往復交通費など日本国内の移動交通費。
2. 旅券取得に関わる印紙代金等一切の費用。
3. 研修中の通学費用。
4. 研修中の平日の昼食代。
5. 教材費。
6. 小遣い、自由行動中に発生する費用、電話代等、個人的費用。

2.7. 研修内容

通常、このプログラムに参加する塾生は、ランドウィック・キャンパスで開催される 5 週間の一般英語(General Proficiency English)コースに参加して、「スピーキング・リスニング・リーディング・ライティング」の 4 技能を磨きます。授業時間は週あたり約 25 時間です。時間割例については下記を参照してください。

なお、研修初日におこなわれるプレイスメントテストの結果によっては、個々の学生のレベルとニーズに合ったその他のコース、すなわち、ビジネス英語(English for Business Communication)

コースや進学準備英語(English for Academic Purposes-EAP)コース^()などを選ぶことが可能です。以下に、今回の応募者が履修する可能性がある3コースの概要を記します。

EAPコースのみ、ケンジントン・キャンパスでの開講となります。

2.7.1. 一般英語(General Proficiency English)コース

前述の通り、一般英語(General Proficiency English)コースでは、「スピーキング・リスニング・リーディング・ライティング」の4技能を磨きますが、授業では他に、文法、語彙、発音にも力を入れ、会話能力の強化にも重点が置かれます。クラスは初級から上級まで6レベルあり、該当者の多いレベルではさらにいくつかの段階に分けられます。研修初日に行なわれるプレイメントテストの結果に応じて学生個々に合った適切なレベルを決定します。いずれのレベルにおいても、インターネットや、その他のコンピュータ教材を利用する授業があります。また、自習教材が各種揃えられた ILC^()での学習などが組み込まれています。学生の成績は、試験結果および普段の授業中の発言などで評価されます。

ILC = 自習室(質問対応スタッフ常駐) テープ、ビデオ、コンピュータなど、特に言語学習者のために開発された種類豊富な教材を設置。

初級	レベル 1-2	構文や語彙の向上
中級	レベル 3-4	上級語彙および文法分野を盛り込んだスキルアップ
上級	レベル 5	ケンブリッジ英語検定試験レベル 3 に向けた対策準備
	レベル 6	通訳・翻訳能力、ケンブリッジ英語検定試験レベル 4 対策準備

プログラム中の時間割(例)は以下の通りです。

	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
9.00-10.00	Language Laboratory (listening and pronunciation)	Listening and speaking	Integrated skills development	Speaking - Seminar presentations	Grammar and vocabulary review
10.00-11.00	Writing	Learning outside the classroom project	Integrated skills development	Seminar presentations	Grammar and vocabulary review
11.45-12.45	Phrasal verbs and idioms	Reading and speaking	Computer assisted learning	Contemporary Australian studies	Media Swap
12.45-1.45	Diary correction/error analysis	Reading and speaking	Pronunciation	Contemporary Australian studies	Media Swap
2.15-4.15	Access to Learning Library	Sydney Harbour cruise 2-4pm	Access to Learning Library	Access to Learning Library	Soccer competition 2-4pm

2.7.2. ビジネス英語(English for Business Communication)コース

このコースは、ビジネス現場での会話、文章といったコミュニケーション能力を向上させたい学生を対象にしています。語彙や文法面の強化はもちろん、討論や、プレゼンテーション、交渉、ビジネス文書といったビジネススキルの向上がはかれるコースです。

このコースにはレベルが2つ設定されています。

- ・「ビジネス英語中級レベル(English for Business Communication - Intermediate - IBEC)」
中級から中級の上レベルを対象としたコース
- ・「ビジネス英語上級レベル(English for Business Communication - Advanced - ABEC)」
中級の上から上級レベルの英語力保持者を対象としたコース

ビジネス英語コースの学生は、プログラム中におこなわれる、口頭および書面の課題の出来映えで評価され、成績がつきます。

以上のコースは、該当する受講者が少ない場合やその他の理由により、開講されない場合があります。

Sample timetable for Business English

	MONDAY	TUESDAY	WEDNESDAY	THURSDAY	FRIDAY
9.00-11.00	Theme 1 Marketing Vocabulary & discussion/ analysis of different methods	Theme 2 Meetings: listening practice, Reading and discussion	Presentation skills: Students give individual topic to the class (filmed); Feedback.	Case Study II: Meeting to solve marketing problem introduced in previous lesson	Theme 3: Management: Vocabulary & discussion based on cultural issues
11.45-1.45	Grammar Analysis: Practising the passive voice in formal English; correct use of prepositions	Case Study I: Solving a marketing problem in a company: Reading and Listening (Language Lab.)	Writing skills: short reports using appropriate headings and passive voice(Computer Lab.)	Team project: Designing and filming a TV commercial including pronunciation practice	Media study: Video business news: vocabulary and discussion/ analysis

2.7.3. 進学準備英語(English for Academic Purposes-EAP)コース

学習者が英語圏の大学にスムーズに進学できるよう、進学準備英語コースがケンジントン・キャンパスで開講されています。これは本来、条件付で大学への入学許可が下りている学生や、大学入学を考慮する学生を対象としたプログラムです。なお、このコースに入学するにはプレACEMENTテストで実力が認められなければなりません。目安としては、IELTS 5 あるいは TOEFL-CBT 150(TOEFL-PBT 473) 以上の英語力が必要条件となっています。

2.7.4. 英語と翻訳・通訳(English & Translation and Interpreting Skills)コース

このコースは上級の英語能力を有し、英語と母国語の通訳や翻訳の仕事に就きたいと考える方に最適です。次のような内容をトピックとした特別のセッション(週 6 時間)がプログラムに含まれます。

- 翻訳と通訳の倫理
- 通訳者の役割
- 翻訳のアプローチ: 意味、コミュニカティブ
- 翻訳の種類: 日常、ビジネス、技術
- 通訳の種類: 接触、連続、模擬、会議
- National Accreditation Authority for Translators and Interpreters (NAATI)の役割
- 翻訳の技術-イディオム、専門用語、レジスターの変化など
- 様々な状況に必要な通訳技術
- 国際的な状況における通訳
- ゲストスピーカー

英語 & 通訳・翻訳能力の授業は一般英語の一環として受講することも可能です。一般英語では通訳と翻訳に不可欠な英語能力を向上し異文化間の意識を高めます。さらに通訳業、翻訳業関連の進学への導入としても適しています。

3. シドニー大学

研修校: University of Sydney, Centre for English Teaching (CET)
 キャンパス: Marelltt St. Campus キャンパスは、Wentworth.Buikding
 URL: <http://www.usyd.edu.au/cet/>
 研修期間: 5週間 2009年2月14日(土)～3月21日(土)
 出発日: 2009年2月14日(土)成田発、15日(日)シドニー着予定
 帰国日: 2009年3月21日(土)シドニー発、同日成田着予定

予定日程:

日 程		予 定	滞在方法
1	2/14(土)	成田空港集合後、出発前オリエンテーション 成田空港よりシドニー空港へ向けて出発	機中泊
2	2/15(日)	シドニー空港到着後、現地係員による出迎え、 ホストファミリー宅へ移動	ホームステイ
3	2/16(月)	プレイスメントテスト	
35	3/20(金)	研修コース最終日:修了証書授与	
36	3/21(土)	シドニー空港へ移動 シドニー空港より成田空港へ向けて出発 成田空港到着後、解散	

3.1. 大学概要

シドニー大学は、1850年に設立されたオーストラリアで最も長い歴史をもつ大学です。学生数は45,000人を超えますが、世界中から集まる留学生がそのうち2割近くを占めるという国際色豊かな大学です。大学の評価は世界的にも高く、オーストラリアをリードする多くの政治家や文化人を輩出しています。キャンパス内には、銀行や郵便局、カフェテリア、書店、薬局、医療機関などがあり、小さな都市のような雰囲気です。

本学とは2006年に大学間交流協定を締結し、これを機に塾生を短期間、同大学の語学集中講座に派遣することが決まりました。

3.2. 研修校概要

Centre for English Teaching (CET)は、英語教育とアカデミック学習スキルプログラムで国際的評価を得ています。英語力を向上させ、高等教育のための準備をすることができます。到着後にクラス分けテストを行い、最適なクラスを判断します。教員は全て熱心な有資格者で、多くが世界各国で教えた経験を持っています。世界各国から多くの学生が集まってきます。

CETは、シドニー大学のWentworth.Buikdingと呼ばれる看護学部などがある建物でメインキャンパスから徒歩10分ほどの場所にあります。

キャンパス内には、図書館やLL教室、コンピュータールームがあり、インターネットやEメールが無料で利用できます。また、シドニー大学のジムやプールなど、様々なスポーツ施設の会員になることもできます。

- 3.3. 募集人数 10名
- 3.4. 最少催行人数 10名
- 3.5. 渡航の形態 大学手配の航空便による往復団体旅行。
- 3.6. 参加費用 約 630,000 円 (予定。海外旅行保険料を除く)
【内訳】

研修費用	412,600 円	登録・授業料、滞在中のホームステイ費、食費、現地空港から大学までの往復送迎費)、ETAS (入国許可)取得費用、現地での 24 時間日本語緊急電話対応、その他研修の運営および手続きに関わる費用
旅行代金	215,850 円	往復航空運賃、成田空港施設使用料、現地空港諸税、2008 年 10 月現在の燃油特別付加運賃、及び成田空港での最終オリエンテーションおよびチェックインサポート、ETAS、現地でのヘルプデスク(電話)、帰国時のシドニー空港でのチェックインアシスタント
海外旅行保険料 (参考金額)	15,280 円	三井住友海上保険 39 日 S2 タイプの場合。保険料の異なる 3 プランのうちから希望のものを選択可能

(注) 上記研修費用は、2008 年 9 月を基準に算出されています。確定金額は CIEE から請求書発送時にその月の CIEE 規定為替レートが摘要されるため、上記金額と同一とは限りません。

上記研修費用・旅行代金は、今後の為替や航空運賃、燃油特別付加運賃の変動等により変更になる場合があります、また 10 名の参加申込みがあった場合の適用であるため、10 名未満の場合は料金に変更となります。また、日本国籍以外の学生でビザの取得が必要になった際には別途実費が必要となります。

旅行代金に含まれないもの

1. 成田空港までの往復交通費など日本国内の移動交通費。
2. 旅券取得に関わる印紙代金等一切の費用。
3. 研修中の通学費用。
4. 研修中の平日の昼食代。
5. 教材費。
6. 小遣い、自由行動中に発生する費用、電話代等、個人的費用。

3.7. 研修内容

塾生が履修することになる一般英語 General English (EGP) コースでは、会話、リスニング、ライティング、リーディング、文法の英語スキルを磨きます。このコースでは対話型の授業に力を入れ、英語圏で生活したり、業務で英語を使ったりする上で十分な自信が持てるようにします。全部で 7 つのレベルがあり、初日に受けるプレイスメントテストの結果に従い、学習進度に合わせてクラスが割り当てられます。

EGP コースには、アクティビティやエクササイズも数多く、世界中の参加者を魅了しています。クラスでは、中南米、東南アジア、太平洋地域、中国、日本、韓国からの参加者と友人になれるでしょう。EGP コースでは、1 冊目の教科書は無料ですが、2 冊目以降は自分で購入することになります。近くの書店で CET 学生カードを提示すれば、10%割引になります。

一般英語 General English (EGP) 時間割(例)

	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
8.30-10.30 am	Project Progress check Speaking/Grammar Review: School Reunion Vocabulary Education Reading At school for 17 hours	Vocabulary review Vocabulary Education in Australia Reading Summarising newspaper articles Speaking, Listening Your education	Project Begin preparing your presentation Speaking Are you telling the truth Progress Check 2 Writing Set-up homework task	Reading/Speaking Employers Want Those Uni Graduates Grammar can, could, be able to Two Minute Talks	Revision/Consolidation work Pronunciation Practice Speaking/Listening Making A Social Arrangement
Break					
10.45-12.45 pm	Speaking (education topics) Grammar make / let / be allowed to Vocabulary Speaking School and university subjects	Speaking 'Education: Mini Debates' Pronunciation practice	Vocabulary/Listening /Grammar In the Media -ed/ing adjectives Vocabulary Strong adjectives	Reading and speaking Listening, speaking Making requests, asking permission Computer based language learning	Grammar/Vocabulary Video listening Behind the News
Lunch					
Homework	Grammar Workbook pages	Write your journal	Writing Education in my country	Grammar, Vocabulary Revise for Progress test tomorrow	Prepare Two Minute Talk Write about weekend

. 参考になるリンク

- ・ オークランド大学 University of Auckland < <http://www.auckland.ac.nz/> >
- ・ オークランド大学 English Languages Academy < <http://www.ela.auckland.ac.nz/> >
- ・ シドニー大学 University of Sydney < <http://www.usyd.edu.au/> >
- ・ シドニー大学 Centre for English Teaching < <http://www.usyd.edu.au/cet/> >
- ・ ニューージーランド大使館 < <http://www.nzembassy.com/home.cfm?c=17> >
- ・ オーストラリア政府国際教育機構 < <http://www.study.australia.or.jp/> >
- ・ 外務省渡航関連情報 < <http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/index.html> >

. 個人情報保護について

申込みにあたってお知らせいただいた氏名、住所その他の個人情報は「慶應義塾個人情報保護基本方針」および「慶應義塾個人情報保護規程」に基づき、安全かつ厳密に管理します。

個人情報は、本研修プログラムの 募集・参加許可者発表、日本での事前研修、現地大学での研修ならびにこれらに付随する事項を行うために利用します。上記 については研修先大学において行います。

本プログラムの実施にあたり、研修先大学ならびに本研修運営委託先である京王観光株式会社、国際教育交換協議会(CIEE)日本代表部に対して、お知らせいただいた個人情報の全部または一部を提供することがあります。

また、個人が特定できないように統計処理した個人情報のデータは、留学に関わる調査・研究の資料として利用されることがあります。予めご了承ください。